

第321回:緑林の徒

前回のコラム320号で中国人民解放軍(以下 PLA)の組織変更について記し、従来の七大軍区が新たに東部戦区(聯合指揮部の所在地・南京)、南部戦区(同・広州)、西部戦区(同・成都)、北部戦区(同・瀋陽)、中央戦区(同・北京)、つまりトン・ナン・シャー・ペイ・チュンの五大戦区に再編されたと紹介したところ、友人曰く「従来の七大軍区を、そのまま七大戦区として再編すれば、これに【白】と【発】が加わり、役満の大三元が完成したのに、惜しい」と。むろん酒の上の戯言だが、云われてみればそうかもしれない。

マーじゃん牌は1から9までの数字の萬子(マンズ)、筒子(ピンズ)、索子(ソウズ)、東南西北の「四風牌」、そして白発中の「三元牌」の都合136枚で構成される。白・発・中の正式名称は「白板(パイパン)」、「緑発(リューフア)」、「紅中(ホンチュン)」。

清朝時代、後宮に仕える妃嬪や女官たちが発明した遊戯がルーツと伝えられている。ゆえに白発中は傾城の三大要素である「白い肌」、「緑なす黒髪」、「赤い唇」を表わすとの説や、白(白粉=おしろい)、発(青黛=まゆずみ)、中(頬紅=ほおべに)との謂れがあるが、どうやら眉唾のようで、あまり真に受けない方がよろしい。PLAは世界最大の軍隊であり、そのオペレーションをハーレムのバクチに譬えるわけにもいかないが、結論として、以下の理由により、中国の「白軍」はXX、「発軍」は! ?だ。

PLAのルーツは、中国工農紅革命軍、略称「紅軍」にある。この紅軍は1927年8月1日の「南昌蜂起(江西省)」を指揮した朱徳、周恩来らの国民革命軍蜂起部隊と、同年9月の「秋収蜂起(湖南省・江西省)」を指導した毛沢東の湖南の農民武装部隊が、翌年江西省の山奥の井崗山で合流するかたちで創設された。だから、8月1日は建軍記念日であり、「八一」はPLAのロゴマークでもある。因みにソ連から帰国したばかりであった当時23歳の鄧小平は蜂起には参加せず、魔都上海に潜伏し、国民党のアカ狩りに怯えながら、共産党のレジスタンス運動に従事していた。戦前の上海を日本ではよく魔都と呼んでいたが、中国の検索エンジン「百度」によると、支那通の村松梢風が小説「魔都」を発表したことから、日本人がそう呼ぶようになったそうだ。一方、当時の西洋人は上海をThe Greatest City of the Far East、もしくはParis of the Orientと呼んでいたと解説は続いているが、これは誉め過ぎでは?インディ・ジョーンズ「魔宮の伝説」の冒頭シーンのような、上海の凄まじいエネルギーや猥雑さを表現するなら、Yellow Babylon of the Far Eastの方が遙かに相応しいような気がする。

閑話休題。そんな経緯もあって共産党が指揮するPLAの色は紅(赤)であり、白は敵のカラーだ。毛沢東たちの蜂起は、国民党の蒋介石が上海で発動した反共クーデター(1927年4月)と、その後の「白色テロ」に対する報復だったが、彼我の実力差は歴然としており、あっという間にひねりつぶされてしまった。

お隣のロシア(旧ソ連)でも、ロシア革命は「赤軍」と「白軍」との争いであり、結果レーニン率いる赤軍が勝ち、国を追われた大量の白系ロシア人が当時世界で唯一、入国にパスポートやビザが要らなかった上海

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3



に流れ込み、ジョッフル・アベニュー(いまの淮海路)周辺に2-3万人規模で住みつき、解放前の魔都を彩った。そんな経緯もあって、アカの国で白い軍隊はあり得ない、だからXXだ。

それでは、発(發)はどうかと云えば、麻雀の役満に緑一色(リユーイーソー)、別名 All Green というのがあるように発は緑色で、中国で緑色と云えば、古くは梁山泊の豹子頭や九紋龍、近くは馬賊の頭目張作霖のような緑林の徒が思い浮かぶ。

共産党革命の聖地、江西省の井崗山は、もともと袁文才や王佐を首領とする数百名の匪賊が立てこもる山中の根拠地であった。ここに毛沢東たちが逃げ込み、後に彼らを叩き切って、アジトを乗っ取った経緯がある。水滸伝で山賊の王倫が支配する梁山泊を晁蓋や林冲たちが奪ったのと全く同じストーリーだ。だから人民解放軍に緑の軍隊をつくるなんて! ? …史実ズバリで、シャレにならないよ。

そういえば習近平さんの腐敗追放キャンペーンにより、近ごろ PLA の指導者が続々とサンズイ(汚職)で逮捕されており、その中には参謀総長クラスの大物も含まれている。軍事科学院に所属する現役の楊春長少将は、「さる軍区の司令官人事に絡み、某将軍が1000万元(1元≒20円)を贈ったのに対し、別の将官が2000万元を贈り、競り勝った」と、とんでもないニュースを暴露している。

その意味では、習近平さんが虎退治で討ち取った連中を緑林の徒と呼んでも罰は当たらないような気がしないでもない。因みに金銭の見返りに階級章を獲得、或は聯隊長ポストを入手する売官買官の行為は、高級幹部に限らず、人民解放軍の津々浦々で蔓延しており、親が就職先の見つからないバカ息子のために、数万元の賄賂を地元の部隊幹部に渡し、一兵卒として入営させることが常態化していると云う。

PLA は中国最大のメーカーであり、重機関銃メーカーがマシン工場を建て、装甲車製造工場の自動車メーカーに、戦闘機メーカーが旅客機を製造するなど、香港や上海に上場する H 株銘柄の中には、数多くの PLA 関連企業が含まれている。PLA 系企業はメーカーだけでない。商社、旅行会社、ホテル等のサービス産業にも及んでいる。

中国に駐在する鼻の下の長めなビジネスマンたちのなかには、ロクに仕事もせず「夜遊びするなら、どこそこのサウナやナイトクラブが安全だ」といった情報交換に熱心な輩が多いと聞かすが、最も安全なのは実質 PLA や警察の傘下にある風俗店である。中国最大のリゾート地・海南島の警察官は犯罪取締りをするより、ポンビキに精を出しているというジョークがあるが、これ必ずしもジョークとは限らないのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成28年2月15日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040